

『ワン・バトル・アフター・アナザー』 <i>One Battle After Another</i> 2025年		執筆：清水 純子
制作国	アメリカ	
スタッフ&キャスト（監督、脚本家、俳優、その他）	<p>スタッフ：監督＆脚本 ポール・トーマス・アンダーソン/ 製作 アダム・ソムナー、サラ・マーフィ、ポール・トーマス・アンダーソン/ 撮影マイケル・バウマン、ポール・トーマス・アンダーソン/ 衣装デザイン コリーン・アトウッド/ 音楽 ジョニー・グリーンウッド/</p> <p>キャスト：ボブ・ファーガソン=レオナルド・ディカプリオ/ スティーヴン・J・ロックジョー=ショーン・ペン/ センセイ=ベニチオ・デル・トロ/ デアンドラ=レジーナ・ホール / ペルフィディア・ビバリーヒルズ=テヤナ・テイラード/ ウィラ・ファーガソン=チェイス・インフィニティ/その他/</p> <p>映倫：PG12</p> <p>配給：ワーナー・ブラザース映画</p>	
画像		
© 2025 WARNER BROS. ENT. ALL RIGHTS RESERVED		
カラー・モノクロ	カラー	
時間	162 分	
ストーリー	<p>メキシコ国境付近の移民収容所の囚人を解放する革命家のボブは、セクシーな黒人女性革命家ペルフィディアと混血の娘ウィラをもうけたつもりでいた。奔放なペルフィディアは、育児と家事に没頭するボブに飽き足らず家出したまま消息を絶った。一人で娘を育てるボブは、ヤクとアルコールに溺れる口やかましいだけの親父になりさがっていたが、ウィラが誘拐される。ウィラ殺害を企てる軍人口ックジョーは、人種差別的秘密結社の幹部資格審査のためにウィラが邪魔だった。ロックジョーは昔ペルフィディアに捕らえられセクハラまがいの屈辱を受けたが、そそられて関係を持った。ロックジョーは修道院に匿われたウィラのDNA検査の結果、親子関係が判明したため、ウィラを殺そうとするが秘密結社の追手に銃撃される。秘密結社の男は逃げおおせたウィラによって撃ち殺され、ロックジョーは生きのびるが、幹部就任は罠でガスで殺され焼却される。娘を助けにやってきたボブは、亡くなった革命の英雄ペルフィディアが仲間を売った裏切り者として生きていることをウィラに打ち明ける。母ペルフィディアの手紙を読んだウィラは、ボブこそが本当の父であることを自覚して親子の絆を強め、革命にいそしむ。</p>	

時代設定	現代の架空のアメリカの町、カリフォルニア州ヴァインランド？
社会・文化背景	黒人を奴隸として搾取してきたアメリカの白人層は、20世紀半ばから始まった公民権運動以来、人種と性別差別撤廃に努力してきた。近年その成果が表れてきたようにみえて深層部では差別思想と排他主義がくすぶり、再燃の機会をうかがっている。政府、軍部、秘密結社にその根は深くあり、移民排斥への動きも差別と偏見に拍車をかける。現トランプ政権の移民排斥政策への暗黙の批判。
使用言語	英語・スペイン語
テーマ	アメリカ社会に深く根付く人種差別と白人優位主義。家族とは何か？という問いかけ、本物の愛情の尊さ。
みどころ	やり手の革命家だったボブが混血娘を実子と信じて手塩にかけて育てる純情と献身、著しい対照をなす変態軍人ロックジョーの鬼畜ぶり、空手のセンセイの男気満ちた人格。息をつかせないカーアクション、テンポの速い物語の展開、退屈させない見事な構成と娯楽精神。アメリカが抱える深刻な問題をユーモラスにやんわりと揶揄する。現政権への批判を上手に織り込んでいる。
印象深いせりふ	It's a, it's a letter./It's a letter from your mom./ Is it from me or from you?/ It's for you./ Do you want to go read it alone?/ Go ahead./ Dear Charlene, Hello from the other side of the shadows. I don't mean to shock you, but I've been contemplating writing for a long time. I often wake up and I find it completely crazy how and why I am where I am today and disconnected from my family. I pretended my whole life, pretended to be strong, pretended to be dead. Is it too late for us after all my lies? Are you happy? Do you have love? What will you do when you get older? Will you try to change the world like I did? We failed. Maybe you will not. Maybe you will be the one who puts the world right. I think of you every single day, every single day. And I wish I had been strong for the both of us. I know someday when it's right and it's safe, you will find me. Please send a kiss to your dad when I get home back. Love your mom...Perfidia./
授業教材用 メリット	アメリカ社会の人種とジェンダーの問題点、家族のあるべき形を歴史と文化からユーモラスにひもとく。3時間弱の長時間上映なのに退屈する隙を与えない。白人男性を演じる男優たちは皆芸達者で味がある。空手道場の「センセイ」では日本語が使われ、時々現れる日本の漫画や文化は日本人学生の興味を引く。深刻な多くのテーマを娯楽で包み、楽しませながら深く考えさせる佳作である。
授業教材用 デメリット	ペルフィディアの性的放縱と無責任さは黒人女性の特徴だと誤解されがち。ロックジョーの歪んだ性的嗜好は奴隸解放以前の白人男性の黒人女性への蔑視を連想させる。人種偏見から自由で良心的ボブのような白人男性は日常生活ではうだつがあがらない存在にされている。
映像入手元	配給：ワーナー・ブラザース映画
原作の有無	トマス・ピンチョン作『ヴァインランド』 <i>Vineland</i> //
支持反応	metacritic 評価（批評家 95、観客 6.9） Rotten Tomatoes 評価（批評家 95、観客 85）
キーワード	革命 レジスタンス 人種 家族 アメリカ 麻薬 修道院 メキシコ 移民 国家 軍隊 排他主義 差別 暴力 セックス

Copyright © Junko Shimizu All Rights Reserved.

★本サイトに掲載される情報の著作権は、清水純子に帰属します。

許可なく複製、改変、アップロード、掲示、送信、頒布、販売、出版等を禁止します。